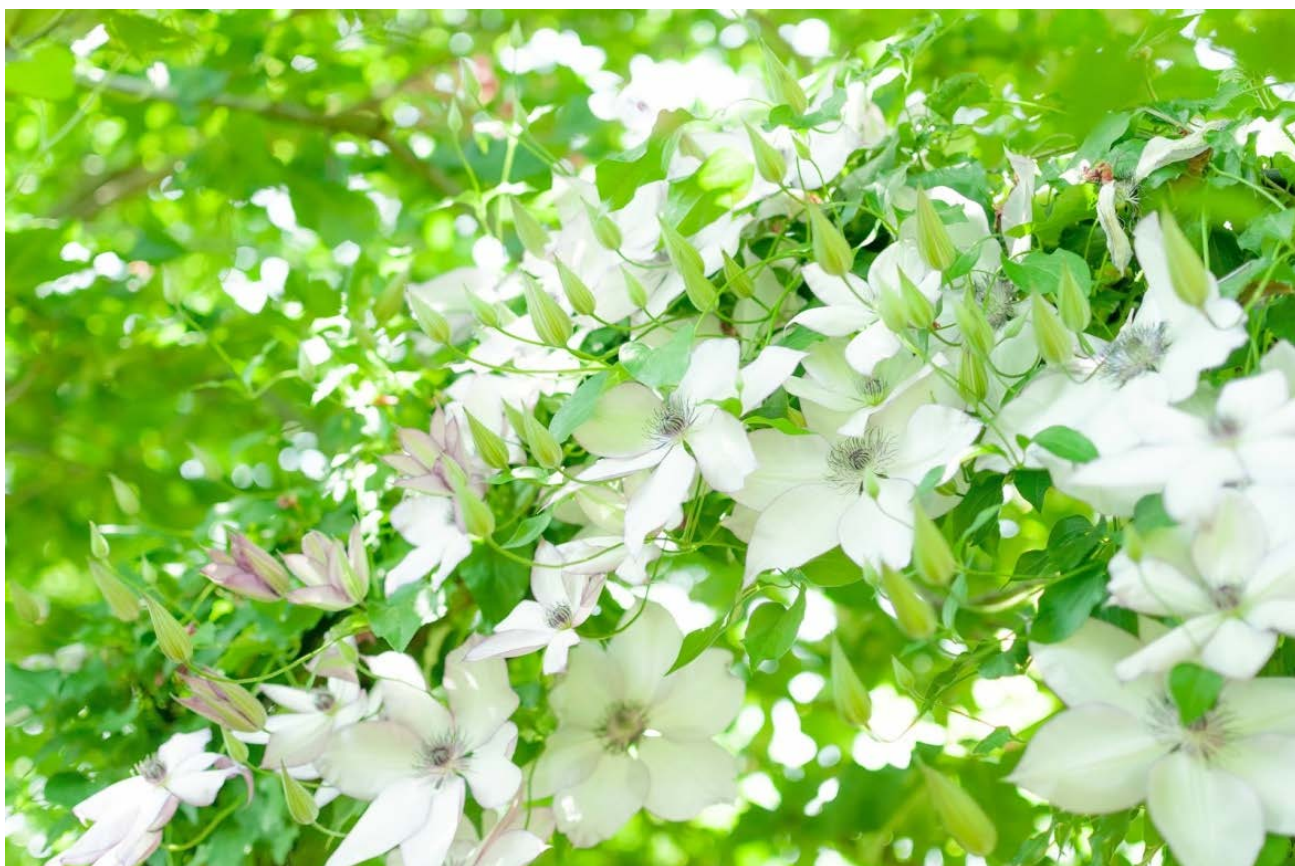


ニューズレター



きめ細かな
支援で癒す
心の傷

香川県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体
公益社団法人 かがわ被害者支援センター



公益社団法人 かがわ被害者支援センター

事件、事故等の被害者及びそのご家族に対して、精神的支援その他の各種支援活動を行うとともに、社会における被害者支援意識の高揚を図り、地域安全並びに被害者等の被害の回復及び軽減に寄与することを目的に設置された団体です。

被害者支援講演会開催

「思いやりで社会を変える～飲酒運転撲滅への願い～」

講師 NPO法人 はあとスペース
代表 山本 美也子 氏

飲酒運転事故の被害者遺族による講演会が10月17日（月）、香川県社会福祉総合センターにおいて行われました。講師はNPO法人「はあとスペース」代表の山本美也子さん。

山本さんは、2011年2月9日に16歳の長男・寛大さんを飲酒運転による事故で亡くされました。

山本さんは「飲酒運転は無差別殺人と同じである」と述べ、「被害者を出さないことは当たり前、本当に大事なのは加害者を作らないことである」と強く訴えました。

そして、突然大切な家族を失うという悲痛な経験を通して、「明日が当たり前に来るということはない、だからこそ私たちは一生懸命に生き抜いていかなくてはならないと気づかされた」と語りました。

さらに、被害者遺族の感情として「被害者の心はガラスのように繊細であり、毎日のように、ころころと変動する不安定なものである」と述べ、「ただ話を聞いてくれるだけでよい、一緒に考えてくれるだけでよい」と訴え、被害者遺族と接する際には、時間をかけてゆっくりと見守って欲しいと語りました。

また、裁判の様子などにも触れ、被害者参加制度を利用しなかったご自身の裁判では何の情報や資料も見られず何も意見を述べることができなかつた悔しさを語り、被害者が参加制度を利用して当然という社会になるよう、被害者参加制度の普及を呼びかけました。

最後に、参加者全員で飲酒運転ゼロの決意を新たにし、講演会は終了しました。



被害者の声

「大丈夫？」という言葉が 時に私を苦しめる

言葉では言い表せないくらいの 苦しみを味わった

大丈夫ではない 大丈夫なはずがない

心に負った傷の痛みに 必死に耐えているのです

「頑張って」という言葉が 時に私を悲しませる

頑張らなくてもいいことまで 耐えてきた

一体何を頑張ればいいのか？

自分自身を保つことで 精一杯なのです

気を遣ってかけてくれた言葉が 私にとって

プレッシャーになることもある

被害に遭った後は とてもセンシティブになります

これ以上 私に苦しみを与えないで

強姦は 「魂の殺人」とも呼ばれる

強姦によって 被害者の魂は 心は 死んでしまう

私も 心が死んでしまった

死んでしまったものは 戻ってはこない

身体は生きている 動いている

でも 心が死んでしまったら

それは本当に 人間と言えるのだろうか？

有すべき「心」を失った人間は

本当に生きている意味があるのか・・・

そんな事さえ考えてしまう

もう あの時の私の心は戻ってこない

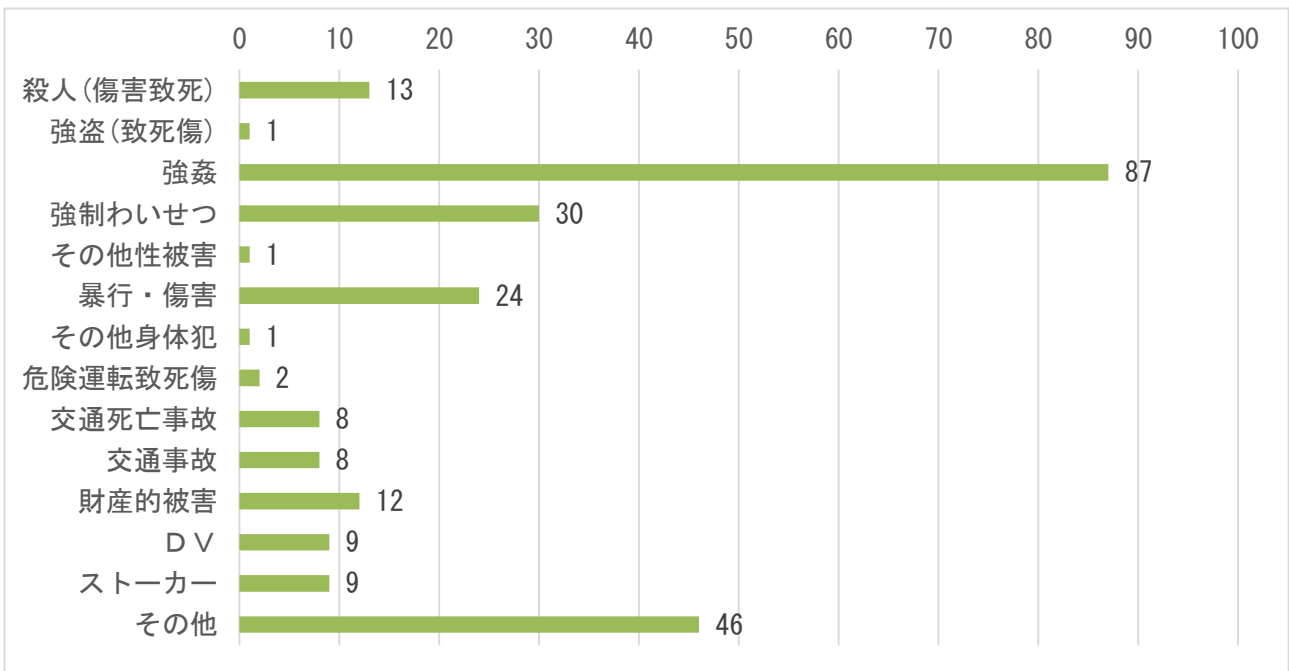
心を奪った犯人を 私は決して許さない

相談活動

— 平成 28 年中 —

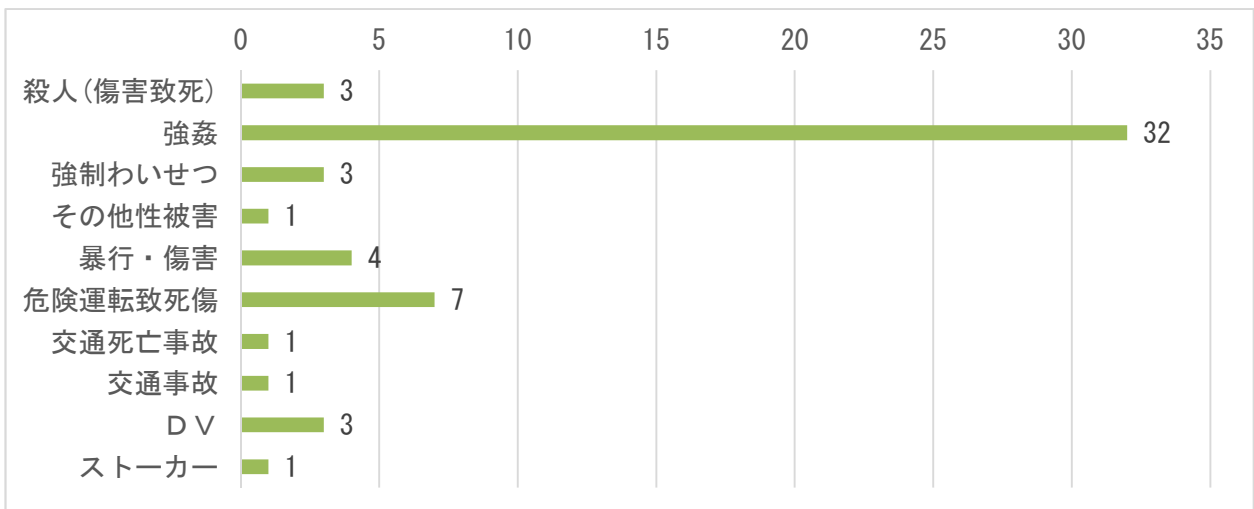
1 電話相談被害罪種別件数

電話相談の受理総数は 251 件で、被害内容を罪種別に見てみますと、性被害（強姦、強制わいせつ等）や暴行・傷害に関する相談を多く受理しています。



2 面接相談被害罪種別件数

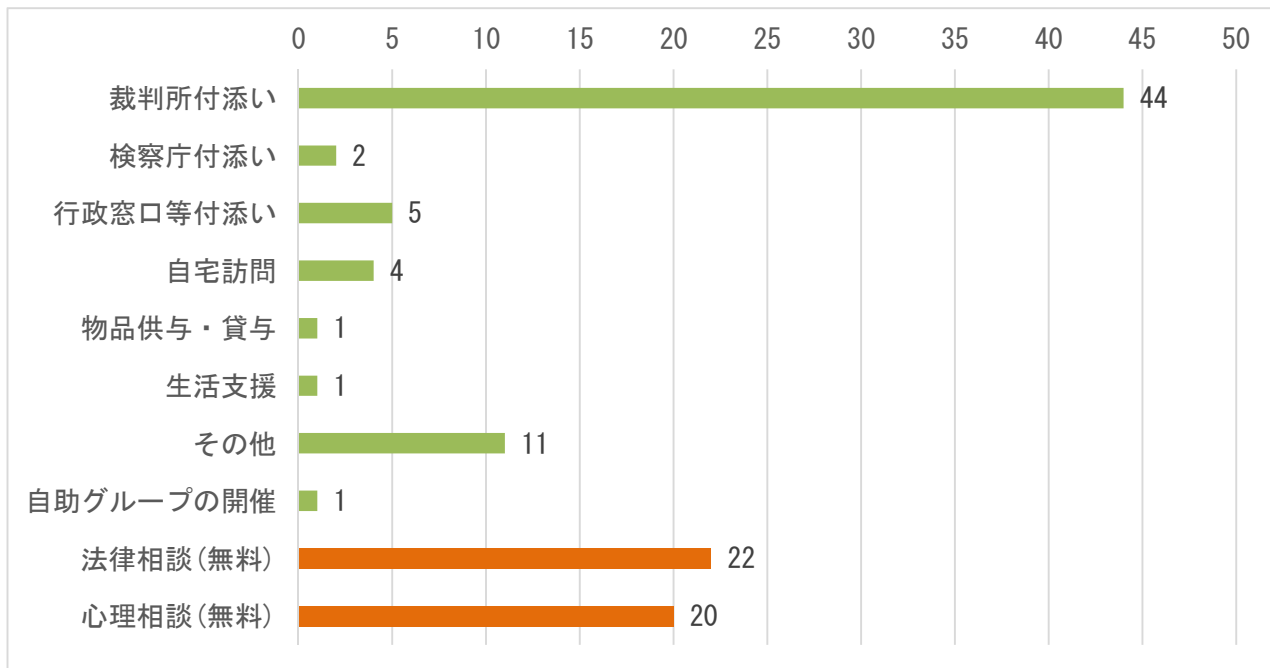
面接相談の受理総数は 56 件で、被害内容を罪種別に見てみますと、性被害（強姦、強制わいせつ等）が 36 件で、全体の 64.3%を占めており、危険運転致死傷も多く受理しています。



3 支援内容別件数

電話や面接相談の結果、必要に応じて法律相談や心理相談などを行っており、法律相談 22 件、心理相談 20 件実施しています。

また、ご要望に応じて裁判所や検察庁、行政窓口等への付添い支援を行っています。



犯罪や交通事故などの被害でお悩みの方に…

- どこに相談したらよいのか分からなくて困っている。
 - ・ 法律や裁判のことが分からない。
 - ・ 誰にも分かってもらえない。でも誰かに話を聴いてもらいたい。
- 事件後、からだや心の調子が悪い。
 - ・ 事件の夢を見る。
 - ・ 不安や無力感、孤独感を感じる。
 - ・ 自分に責任があると自分を責める気持ちになる。
- 何かをする気力が出ない。

～ 私達にお電話ください ～

相談電話

087-897-7799

受付日時

月～金曜日 午前10時～午後4時

(祝日、年末年始は除きます)



かがわ被害者支援センター
シンボルマーク

相談・支援は無料で行います。秘密は固く守ります。

犯罪被害者支援活動員養成講座

■ 5月10日～10月25日の間10回開催

【講師：香川県職員、警察官、弁護士、大学教授、臨床心理士、他県の被害者支援センター相談員、被害者ご遺族など】



ボランティア被害者支援員養成講座を終えて

● 私は、今まで何気なく事故、事件のニュースを耳にし、後方支援を知る由もなかったのですが、受講する中で二つ気づきを頂きました。

● 一つは、専門スキルのハードルの高さを実感し、支援する側支援される側も未経験の私がどのように関わらせて頂けるかということに直面したことです。

● 二つ目は、当たり前で明日はあると疑うことをしませんでした。保障の上での生活ではないということ肝に銘じ、これまでの無意識な自分から意識する自分でありたいと気づいたことです。

● 最後に、被害者の方・ご家族の癒えることのない悲しみに寄り添う支援…これから自己研鑽出来ればと考えています。

Dさん



継続研修

■ 毎月1回開催

【講師：大学教授、検察庁職員、弁護士、他県の被害者支援センター相談員、臨床心理士、被害者ご遺族など】

<毎回10名位参加>

性暴力被害者等のためのワンストップ支援センター支援員養成講座

■ 10月16・22日、11月6・12・13日 計5回開催

【講師：性暴力救援センター・大阪 SACHICO】



その他の研修

- 全国被害者支援ネットワーク主催 支援活動会議（8/5. 6）東京都開催＜1名参加＞
- 中国・四国ブロック研修会（8/27. 28）高知県開催＜4名参加＞
- 全国犯罪被害者支援フォーラム2016及び秋季研修会（10/1. 2）東京都開催＜4名参加＞
- 中国・四国ブロック研修会（1/28. 29）山口県開催＜3名参加＞
- 全国事務局長会議
- 香川県共同募金会研修会

ブロック研修に参加して

最初、研修プログラムを手にした時から、このような深い内容の研修に、今の私が参加しても大丈夫だろうかといった大きな不安を胸に臨みました。

休憩もなく、熱の籠った講師の皆様の講話についつい引き込まれ1日目が終了。続いて2日目も、ロールプレイを中心にした、更に充実した内容でした。

今回の研修で、被害者支援は『必要な人に必要な内容で、適切な時期に適切に行うことが大切』で、『支援することが本来の目的ではなく、被害者の被害から回復を目指す』ということを再認識しました。

支援員 S

8月27・28日 高知市の高知共済会館において開催されました研修会に、3人の方々とともに参加しました。こうした内容の研修会は初めてで緊張の連続でしたが、たくさんの他県の支援員の方々とも知り合うことが出来、また何より貴重な学びの場を与えて下さり感謝申しあげます。

1日目はオリエンテーションなどの開会行事後、①法律・制度学習②連携のあり方・社会資源と活用法③事例検討会の意義と参加方法④支援者としての自己理解と、多岐にわたる深い研修内容が続き、休憩も適時という厳しいものでした。

その中でも特に「支援者としての自己理解」は、生身の人間が生身の人間を支援することの難しさを改めて感じ、そのためにまず『ありのままの自分』を知ることの大切さを学びました。自分のフィルターを通して物事を見ることは当然としても、自分の価値観だけで理解し、判断することの危うさを常に意識し、そのためにも同じ支援員の方とコミュニケーションを密にすることは不可欠な事と思いました。私自身『ありのままの自分』と対峙することは骨の折れる事ですが、肝に銘じつつ自己研鑽していきたいと思えます。

2日目は、ロールプレイを通して、直接的支援研修が主な内容で、グループワークでの学習となりました。いろいろの仮想事例を役割分担しながら、その振り返りを発表するというハラハラドキドキの時間は、和気あいあいとしたものでもありました。支援経験のある支援員の方から適切なアドバイスをもらい、私と同じ様の初心者の方共々「なるほど、なるほど」とその都度感心の声をあげました。しかし事例内容は深く、重く、心に残るものばかりで、実在の方が実際に被害に近いものであることを思うと、より真剣に取り組むことが求められていると痛感しました。

2日間にわたり学んだ研修内容を、私自身が実際の支援に生かすためにはまだまだ高いハードルを越える必要があると思いますが、少しでも被害者やそのご家族の役に立てる日が来ることを信じ、これからも精進していきたいと思えます。本当にありがとうございました。

支援員 N

講話

5月	犯罪被害者支援講演：警察学校		安全運転管理者講習：小豆島ふるさと村
6月	被害者支援の講義：香川県警察学校	10月	丸亀警察署被害者支援連絡協議会
	安全運転管理者講習：小豆島ふるさと村		安全運転管理者講習：ピカラストジアム
8月	安全運転管理者講習：多度津町町民健康センター多目的ホール	11月	安全運転管理者講習：ピカラストジアム
9月	琴平警察署被害者支援連絡協議会		被害者支援講義：被害者支援センターえひめ
		12月	四国地方更生保護委員会
		1月(予定)	四国少年院

関係機関との連携

- 香川県弁護士会被害者支援委員会、テーマ研究会（毎月1回：隔月：弁護士会館）
- ワンストップ支援センター設立協議会（5月～毎月）
- 犯罪被害者講演会（6月：高松テルサ）
- 被害者講演会（6月：香川大学）
- 香川県被害者支援連絡協議会（7月：香川県警察本部）
- 犯罪被害者遺族による講演会（9月：香川県警察学校）
- ワンストップマニュアル協議（10月：法テラス）
- 暴力団排除キャンペーン（11月：三町ドーム）



渡 隆一氏 撮影：皇帝ダリア

広報啓発

- パネル展

香川県庁（11/28～12/2）



じんけんフェスタ 2016(12/3:サンポート)



命の大切さを学ぶ教室

平成 28 年度中に香川県警察と連携して、中学生・高校生を対象にした「命の大切さを学ぶ教室」を中学校 1 校、高校 5 校の計 6 校で実施し、中学校 2 校と高校 2 校で実施予定です。

講師は交通事故や、少年犯罪の被害者ご遺族にお願いしました。

生徒達は真剣な表情でご遺族の話を聴き、改めて命の大切さを学び、犯罪や事故を起こしてはならないという意識の向上を図ることが出来ました。



実

施

校

<平成 28 年度中>

開催月	中学校	開催月	高校
10 月	三豊市立豊中中学校	5 月	県立志度高校
2 月(予定)	高松市立山田中学校	9 月	県立琴平高校
3 月(予定)	高松市立香川第一中学校	11 月	県立高松工芸高校
		12 月	県立香川中央高校
			県立多度津高校
		2 月(予定)	県立坂出高校
		3 月(予定)	私立英明高校

平成 29 年度 実施校募集中!

平成 29 年度も 10 校程度の中学校、高校で開催を予定しています。

全校生、学年対象どちらでも可能です。講師への依頼や送迎などは当支援センターと県警察が行います。

実施についてのご依頼やご質問がある場合は、ご説明におうかがいしますので、ご連絡をお願いします。

<連絡先>

(公社) かがわ被害者支援センター事務局 (087) 897-7790

受 賞

第6回「命の大切さを学ぶ教室」全国作文コンクール（警察庁主催）

同コンクールは、犯罪被害者らが実体験を語る「命の大切さを学ぶ教室」を受講した中・高校生の作文が全国から約1万点寄せられ、県内から2人が受賞されました。

<中学生の部> 警察庁長官官房給与厚生課犯罪被害者支援室長賞

～ 大切な命を生きる ～

坂出市立坂出中学校3年 佐藤 優樹 さん

講演を聞いて大切な人の命を失う悲しみを思い出しました。小学校六年の夏、僕の祖父が突然いなくなりました。交通事故ではないけれど、大切な人を突然失った悲しみは同じです。僕は祖父が死んだ時、その事実を受け入れられませんでした。つい最近まで普通に生活していたからです。その祖父が突然いなくなるなんて信じられなかったのです。

僕は毎年夏休みには、祖父にキャンプに連れて行ってもらっていました。五色台や大川山、柏原溪谷など、山や川や海に行きました。そこでは、僕の兄弟と祖父と一緒にご飯を作ったり、カブトムシやクワガタを探しに行ったり、普段経験できないことをたくさん経験させてくれました。テントの中で夜、祖父といろいろ話をするのが大好きでした。キャンプから帰って来ると、来年はどこへ連れて行ってくれるのか待ち遠しかったです。

それは、ある土曜日の夕方のことでした。祖母から突然電話があり、祖父が救急車で病院に運ばれたと言うのです。僕の家族は急いで病院に駆けつけました。僕は初めは軽い病気だと思っていました。しかし、一週間後に再び病院に行くと、祖父は違う病室にいました。そこには、いろいろな医療器具を取り付けられた祖父がいました。僕は驚きました。それでも、僕らが話しかけると祖父はうっすらと目を開けました。話すことはできなかったけれど、僕らが来ていることは分かったようで、小さくうなずきました。そして、また目を閉じてしまいました。それから三日たって、祖父は亡くなりました。僕は悲しかったです。大好きだった祖父が、こんなにも早く死ぬなんて思ってもいませんでした。それは六年生の夏休みが始まったばかりの頃でした。

僕はそれから命とは、いつなくなるか分からないものだと思うようになりました。今まで僕にとって命とはあって当たり前のものでしたのです。それなのに、当たり前にあった命が自分の目の前で急になくなり、命は本当に大切にしなければならないのだと実感しました。僕は徳永さんの話を聞いて、命は決して無駄にしてはいけないと思いました。日本には毎年、自殺する人がたくさんいると聞きます。自ら大切な命を絶って死んでいく人と、もっともっと生きてたくさんの事をしていきたいのに病気や事故で急に命を絶たれてしまう人がいることに、僕は矛盾を感じずにはられませんでした。だからこそ、僕は親からもらった命をしっかりと守って、一日一日を大切に精一杯生きていきたいと思っています。

祖父の葬儀の日は、夏のよく晴れた暑い日でした。外ではセミの声がよく響いていました。祖父はいなくなりましたが、祖父と過ごした思い出は、僕の心の中に生きています。夏になってセミの声を聞く度に、僕は命を大切に生きていく決意をするのです。

< 高校生の部 > 警察庁長官官房給与厚生課犯罪被害者支援室長賞

～ 命の大切さについて ～

香川県立香川中央高等学校 2年 福家 理子 さん

今日の講演会で命の大切さを改めて感じた。人が死んでしまうということはその人においていかれてしまう家族や友人がうまれることだと私は思う。もちろんこの世から突然存在が消えてしまう当事者が一番辛く無念だと思うが、その人がいなくなった一種の非日常にこれからも生き続ける人々、特にその人が生活した家でこれからも生活する家族は、遺品との遭遇やその人がいた風景が脳裏に浮かぶ日々には苦悩するだろうと思う。

私にも大切な人を亡くした経験がある。私の父は私が小学四年生の時に心筋梗塞で突然この世を去った。家に帰っていつまで待っていても父は帰ってこなかった。病院で初めて父の死を知らされたがどうしてもその事を受け入れることができず涙が枯れるまで泣いた。

いつまでも悲しみに打ちひしがれてはいけないと思い前向きになっても、すぐに辛い現実には打ちのめされてしまった。家に帰ると父がいつも座っていた椅子やいつも持ち歩いていたセカンドバッグや煙草など遺品だらけの空間があったからだ。椅子に父が座っているような気が何度もした。インターフォンが鳴ったので「おかえり」と言って鍵を開けたら父ではなかった事もたくさんあった。しかし父の墓ができた時やっと父が本当に亡くなったという現実を受け入れることができた。

美香さんのお母さんからも私が体験した苦悩が感じとれた。美香さんが亡くなったことを知らされても本当にそれは事実なのかどうか信じることができないで、ただただ涙が流れたと語る美香さんのお母さんの言葉に私は命の大切さと重さを改めて感じた。親の子どもに対する大きな愛が美香さんのお母さんから私に伝わってきて自然と涙があふれた。また子どもは親にこんなにも大きな愛で守られていたんだと思うと、家族をよりいっそう大切にしようと思うことができた。

私は普段お腹がすいて我慢できなくなると「お腹がへりすぎて死にそう」だとかテストの点が悪かった時に「テストの点が低すぎて死にそう」というような言葉を使ってしまうことがある。「死」ということ程、実現してしまったら恐ろしく皆に平等にいつかやってくるものは無いのに、その事に気づいていない人がこの世にはたくさんいると思う。私はいつかこの恐怖を思い出しては「命を無駄にはしないようにしよう」と強く思っている。交通事故や事件・他の国では戦争やテロなどの悲しい連鎖で毎日何千・何万人もの人々の尊い命が失われているというのに私たちの中に心から命を大切に思い一日一日を大事に過ごしている人は少ないだろう。

私は父を失ってから命に対する考えは他の同年代の人よりしっかりしていると思っていたが、口先で軽々しく「死」に関する言葉を使っているようでは美香さんの弟が友人に「死ぬとか殺すとか軽々しく言うんじゃない。」と怒鳴ったときのように誰かに激しく注意されても反論の余地がないと痛感した。私は今までたくさんの人権学習や自殺防止教室で命の大切さについて学習してきたが、本人たちにしか分からない痛みや葛藤があったと思う。その本人たちしか知り得ないことを同情で知ったふりをするのではなく、自分なりの解釈で理解できればいいと私は思う。

また今日の講演会で娘を亡くしてしまったという思い出すのも辛いような話をどうして美香さんのお母さんは私たちに話してくれたのかをしっかりと考え、決して無駄にしないように学びとったことを胸に行動できるようになりたいと思った。

「私の支援について」

私は、かがわ被害者支援センターで勤務させていただくことになり、3年余り経過しました。

活動を始めると、娘さんを亡くされた父親は「出来るだけ早く亡くなった娘の所へ行きたい」、性犯罪被害に遭われた娘さんの母親は、「犯人には生きていて欲しくない。それが出来ないのなら一番重い処罰を与えて欲しい。」等吐露され、被害に遭われた方やそのご家族のこれから先の計り知れない苦悩の日々を想うと返す言葉が見つかりませんでした。

そして、人生で一番辛く、苦しい時に訪れる場所が被害者支援センターであると気付かされました。

そんな中、幼少期から二十年余りに亘り、肉親から性被害を受けていた女性の支援を担当することになりました。

女性は、長年被害を誰にも相談出来ず、苦しんでいたところ、被害者支援センターにやっと辿り着いたのです。

弁護士事務所（相談、告訴状の作成、検察審査会への審査申立）や警察署（事情聴取、再現、実況見分、調書作成）への付添いの他、面接や電話等での相談を続けました。

女性と出会った当初は、夢か現実か分からないような夢を見る恐怖から怖くて眠れない等不安定な精神状態でした。

女性との関わりが2年余り経過し、支援はほぼ終結を迎えています。

女性は、少しずつ自尊感情を取戻し、日常生活を楽しむゆとりも出てきました。

この女性の支援を通じて学んだことがあります。

一点目は、関係機関等との連携の大切さです。

弁護士の先生方は法律の専門家として各段階で被害者に丁寧に説明して下さり、被害者の要望を尊重しながら方向性を見出して下さいました。

また、警察においても地元警察署での事情聴取に抵抗感を示す被害者の意向を汲み、地元から離れた警察署において、女性警察官が事情聴取等を行う等の配慮をして下さいました。

二点目は、被害者自身が出来ることを最後までやり切ることが、回復に繋がることもあるということです。

被害者が立ち上がり、事件化することは、被害者にとってエネルギーが必要なことですが、刑事手続きのプロセスの中で、徐々に気持ちの整理をすることが出来、自尊感情を取り戻す上で有効であったと思います。

三点目は、警察や検察庁などそれぞれの機関で被害者支援について配慮がなされています。しかし、被害者支援センターは、中長期に亘り、途切れなく様々な支援をすることが出来る唯一の機関であるということを実感しました。

先日、先の女性から「自分の気持ちにも色々変化が出て来て一区切り踏ん切りがついた気がします。センターの皆様が支えて下さったお蔭です。本当に感謝感謝です。有難うございました。」というメールが初めて送られて来ました。

犯罪被害者が犯罪被害によって受けた心の傷や元の生活を取り戻すことは難しいけれど、その傷が少しでも癒え、被害者自身が次のステップに向けて進んでいただけるように被害者の心に寄り添うことを大切に根気強く支援して行きたいと思います。

支援員 Y

ご 紹 介

正会員・賛助会員・寄附者のご紹介【団体】

(敬称略、順不同)

■正会員 (1万円)

香川県安全運転管理連絡協議会
香川県警友会連合会
香川県商工会議所連合会
香川県弁護士会
(一社) 香川県医師会
(一社) 香川県経済同友会
(一社) 香川県警備業協会
(一社) 香川県指定自動車学校協会
(一社) 香川県トラック協会
(一財) 香川県交通安全協会
(公財) 香川県防犯協会連合会
(公財) 香川県暴力追放運動推進センター
(医社) 昌樹会ウツミ整形外科医院
(株) 香川銀行
(株) 四国新聞社
(株) たいよう共済香川支店
(株) タダノ
(株) 百十四銀行
牟禮印刷 (株)
四国電力 (株)
四国旅客鉄道 (株)
ネットヨタ高松 (株)
野村證券 (株) 高松支店
高松信用金庫
自動車安全運転センター香川県事務所

以上 25 団体

■賛助会員【団体】(1口:1万円以上)

(有) ジュエルヒラタ
日本司法支援センター香川地方事務所
(法テラス香川)
香川県婦人団体連絡協議会
平成機工 (株)
香川県遊技業協同組合
高松ゾンタクラブ
(株) 高松アセットビルディング
(有) エイトヒルズ・コーポレーション
三豊ライオンズクラブ
(株) 富士クリーン
平井法律事務所
川東法律事務所
西紋・小林法律事務所 (小林正則 氏)
(株) 田中海事
(株) ホンダ四輪販売四国
馬場法律事務所
有明法律事務所

以上の団体のほか、多数の個人、警察職員やそのOBの方などからもご寄附をいただいております。

「被害者支援自動販売機」設置場所

被害者支援自動販売機を設置していただくことによって、社会貢献をされている企業・団体及び個人の方々です。

設置にご協力いただきました皆様に心から感謝申し上げます。

(平成 28 年 12 月末現在 133 台：順不同、敬称略)

東かがわ市

ネットヨタ高松(株)さつき店、香川県農業協同組合白鳥支店、(有)マイルドケアたんぼぼの家
(株)JA 香川県エネルギーサービス (ジャスコ 大内 SS)
東かがわ市役所、東かがわ警察署

さぬき市

オレンジタウンゴルフセンター藤井学園ゴルフ練習場
(老福) 真清水荘、(株)さんがわ自動車学校、さぬき市民病院
志度ゴルフセンター、藤井学園寒川高校第二青雲寮
(株)JA 香川県エネルギーサービス (ジャスコ 長尾 SS、鴨部 SS) 【2 台】
さぬき警察署

三木町

(株)エムケーインデクト三木リサイクルプラント
東洋工業(株)三木工場 【3 台】、高松東警察署

小豆島町

小豆島オリーブ公園 (オリーブ記念館)、サン・オリーブ温泉 (サン・オリーブ)
小豆島オリーブバスタウン前、小豆島中央病院、小豆警察署

高松市

東洋工業(株)本社 【3 台】、高橋石油(株) (本社、松縄店、大塚店) 【3 台】、にこにこライフ高松、(有)四国ハニー、(株)バジェットレンタカー四国本社、高松自動車学校、(株)えびす石材土木 【3 台】、(有)佐藤建材運輸、岡本カイロプラクティック院、香川舗道(株)高松営業所、リユーテック朝日町サービスセンタールビー商會、(株)村上組、(有)中西製麺 【2 台】、椋川ダム建設工事事務所 (大成・飛鳥・村上特定建設工事共同企業体) 【6 台】、香川県農業協同組合 (塩上支店、中央地区営農センター、太田支店、本店一宮別館、ふれあいセンター高松市中央店) 【5 台】、(株)村上組建設工事現場 【2 台】、ホンダオートテラス高松(株)JA 香川県エネルギーサービス (一宮 SS、ジャスコ 川東 SS) 【2 台】、コインランドリークニカタ十川店 (有)鷺之山石材商會、NTT ドコモ天神前ビル、四国管区警察局、香川県警察本部 【2 台】、香川県警察学校香川県警察本部運転免許センター、高松北警察署、高松南警察署

綾川町

(株)フレッシュデポ綾上事業所、(株)JA 香川県エネルギーサービス (昭和 SS、ジャスコ 滝宮 SS) 【2 台】
綾川町ふれあい運動公園、高松西警察署

坂出市

三菱化学(株)坂出事業所、少林寺拳法坂出専修道院、(社福) 敬世会特別養護老人ホームきやま
(有)川津土建、美容室ライフステージ、坂出国際ホテル、山下うどん、(一社) 坂出市医師会



まえだ整形外科医院、(株)JA 香川県エネルギーサービス(浜街道坂出 SS)、坂出警察署

宇多津町

ネットトヨタ高松(株)もみの木店、(株)フレッシュデポ宇多津事業所、YKK AP(株)四国製造所【3台】

丸亀市

(医社) 誠和会中野外科胃腸科医院、香川県農業協同組合讃さん広場、マルタフード今津店
飯山北地区コミュニティ推進協議会、(株)JA 香川県エネルギーサービス(岡田セルフ SS)
丸亀市城南コミュニティセンター(ふれ愛の町みなみをつくる会)、丸亀警察署

多度津町

(株)アムロン鉄鋼本部テクノ多度津【2台】、高島総業(株)
白方公民館((公財)多度津町文化体育振興事業団)

善通寺市

西日本高速道路(株)四国支社 香川高速道路事務所
官川製麺所、善通寺運転免許センター

琴平町

(医社) たけお会岩佐病院、都村製作所(株)【3台】、琴平警察署

まんのう町

まんのう町役場琴南支所(まんのう町役場職員組合)
(株)JA 香川県エネルギーサービス(協栄 SS)

三豊市

(株)JA 香川県エネルギーサービス(豊中ふれあい SS、宝山 SS、高瀬 SS)【3台】、三豊警察署

観音寺市

(医社) 豊南会 香川井下病院、観音寺市役所、観音寺市世界のコイン館(観音寺観光開発(株))
(株)フードレック【5台】、(株)JA 香川県エネルギーサービス(豊南ふれあい SS)、観音寺警察署

協力飲料水メーカー

四国コカ・コーラボトリング(株)、四国キャンティーン(株)、(株)伊藤園、香川ペプシコーラ販売(株)
(株)ジャパンビバレッジ中四国、サントリービバレッジソリューション(株)、(株)ワールドフーズ
(株)ウエストアライアンス、(株)光洋、(株)石原商店



この自販機のジュースを買ったら、困っている人の役に立つんだよ！

・・・「かがわ被害者支援自動販売機」(寄附金付き自動販売機)設置のお願い・・・

被害者支援自動販売機は、自動販売機設置者の売上金の一部を「かがわ被害者支援センター」が寄附を受ける仕組みです。寄附金は、当センターの被害者等の支援のために活用させていただきます。

また、被害者支援自動販売機は、多くの人々が集まる市街地や広場等に設置されることで、一人でも多くの方が当センターの活動及び犯罪被害者への理解を深める広報的役割も担っています。

支援の輪を広げるため、被害者支援自動販売機の設置にご協力をお願いします。

設置方法

いたって簡単で、賛同する旨のご連絡をいただければ、現在設置されている自動販売機の各メーカーと相談させていただき、協定を結べばすぐに実現できます。

新設の場合はもっと簡単で、ご連絡をいただければ、各メーカーに紹介して新たな自動販売機を設置させていただきます。

ご支援をいただける場合は、当センター(087-897-7790)までご連絡をお願いします。



・・・一人で悩まずお電話下さい・・・

犯罪や事故にあわれた方やご家族のための相談電話です

相談電話 087-897-7799

(平日 10:00~16:00)

相談・支援無料 秘密厳守



香川県公安委員会指定 犯罪被害者等早期援助団体

公益社団法人 **かがわ被害者支援センター**

<http://sien-kagawa.sakura.ne.jp/>



Supported by

日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION